

(臨床研究に関する公開情報)

公立陶生病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] 加湿器肺に関する全国実態調査 (二次調査)

[当院研究責任者] 部署名 呼吸器・アレルギー疾患内科 氏名 近藤康博

[研究の背景] 過敏性肺炎は、細気管支から肺泡領域におけるⅢ型及びⅣ型アレルギー反応によって発症する間質性肺炎です。その抗原は、真菌・細菌・動物由来の異種蛋白・環境中の低分子化学物質など多岐にわたります。本邦では、湿度の高い気候と、木造建築が多い環境から Trichosporon asahii (トリコスポロン・アサヒ、真菌) を原因とする夏型過敏性肺炎の頻度は高く、全過敏性肺炎中の約 70%を占めると言われています。

近年、家庭用超音波型加湿器の普及により、加湿器内の汚染水の吸入により惹起される加湿器肺の報告が散見されるようになりました。本症は過敏性肺炎の一つに分類されています。

最近、COVID-19 の流行下において加湿器使用が推奨され、家庭用加湿器の普及が加速し、加湿器肺の症例報告が増加しており、今後さらに症例が増加することが予想されます。しかしながら、加湿器肺の症例報告は散見されるものの、世界的にみても疫学調査等の大規模な臨床研究は行われておらず、その臨床・画像・病理像は不明な点が多く残されています。

そこで、日本呼吸器学会基幹施設、連携施設ならびに「びまん性肺疾患に関する調査研究班」班員施設を対象に加湿器肺の実態解明と診療指針の作成を目的に加湿器肺の全国実態調査を計画いたしました。

[研究の目的] 加湿器肺の臨床、画像、病理学的特徴を明らかにし、加湿器肺の診療指針を作成することを目的とします。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2011年から2021年までに公立陶生病院において、加湿器肺と診断された方

●研究期間：実施許可から 2026年3月31日まで

●利用する検体、カルテ情報

カルテ情報：患者背景（性別、診断日、診断時年齢、診断根拠、併存疾患、既往歴、家族歴、喫煙歴など）、診断時症状、身体所見（身長、体重、血圧、心拍数、呼吸音、SpO2 など）、検査データ（血液検査、動脈血液ガス検査、呼吸機能検査）、胸部画像、病理組織標本

●利用する検体、カルテ情報の管理

カルテ情報は、研究代表者機関である東邦大学医療センター大森病院に郵送又はインターネットを介して提出され、集計、解析が行われます。

[研究組織]

この研究は、多施設との共同研究で行われます。研究で得られた情報は、共同研究機関内で利用されることがあります。

・研究代表者（研究の全体の責任者）

代表施設名： 東邦大学医療センター大森病院

研究代表医師：坂本 晋 役職： 准教授

・その他の共同研究機関：別記（研究参加施設一覧）

[個人情報の取扱い]

研究に利用する検体や情報には個人情報が含まれますが、院外に提出する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できる情報は削除し、研究用の番号を付けます。また、研究用の番号とあなたの名前を結び付ける対応表を当院の研究責任者が作成し、研究参加への同意の取り消し、診療情報との照合などの目的に使用します。対応表は、研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。検体や情報は、当院の研究責任者及び検体や情報の提供先である東邦大学医療センター大森病院の個人情報管理者が責任をもって適切に管理いたします。研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。

[問い合わせ先]

公立陶生病院

所属部署 呼吸器・アレルギー疾患内科 氏名 武井玲生仁

電話 0561-82-5101 FAX 0561-82-9139